夕刊
磐城新聞
十二月十七日發行
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
振替東京一〇八五五六五番

隨筆

法服を脱いてから

ティ・アイ生

上

酒を愛する

天若し酒を愛せずんば酒星天に在らじ、と吟じ、或は林間酒を煖ために紅葉を焚く、と謳つて、支那人は酒を以て風流とした。日本では、新穀を以て黑酒白酒を醸し、神靈に捧げたことから酒が始まつたやうである。御酒上がらぬ神はないと理窟をつけ、酒で御器量が下がりやせぬなど〻、酒を強ゆる手段とする向もあるが、本來報恩反始の美俗で、清淨無礙の神事から來たので、基督の血だなど〻云ふて葡萄酒を啜るやうな腥臭いものではない、茲に爭ふ可らざる各氏族精神が現はれてるやうである。それがいつの頃からか、酒を神聖視するもの、酒を愛するものは段々減じて、徒らに酒を嗜み酒を浴び、中には其の毒を利用して悶を消さんとするものさへ夥くなつたものであらう。酒若し靈あらば、逆に人間に向つて啖呵を切るかも知れない

酒を競技的に取扱つて、酒量の多寡を以て勝敗を爭ふに至つたのは、戰國武を競ふた時代からの餘習に相違ない。夫れを講談本や演劇などが更に誇張したのであらう。例の赤垣源藏なども浪花節で聽くやうな飲んだくれではなかつたさうだ從つて今日では、高い酒を唯澤山飲み得たからといつて、何等意味を為さない。大飯を喰つたつて別に名譽でも何でもないと同じである。或は又酩酊に藉つて下らない怨みを言うたり他を罵倒したりする卑怯千萬なものもあり、或は又醉餘取返しのつかない失態を演じて後に禁酒を誓つたり、或は又依つて　法の病を招來して懲いて酒を廢して蒼くなつてる如き、文字通り敗軍の將で、其の淋しい姿が見るも氣の毒に感せられる

そこへ行くと、我が先輩前大審院部長磯谷幸次郎先生などは、眞に酒を愛するの士で、酒の上の喧嘩もなく、罵詈もなく、無理もなければ飾りもなく、春風盎和やかに、接するもの悉く温かなるものがある。酒を愛して而して酒を樂しむの人と謂ふべきであらう。だから濫りに熱燗の要求もせず、又ガブ飲みもせられない。私は酒に就て曾て先生に學んだことがある。酒の燗は銅壺の中で間斷なく德利を廻はすに限る。でなければ、銅壺の中の湯の溫度に不平均あつて酒味滑らかならずといふのであつた

秋

松本秀男

秋は紅葉の錦着て
すゝきは風に踊るとも
ちりばめたろ、寶玉の空
に讃歌の聲高し
川は流れて帶の如
は道饕に川の如
野にねて一人ウマザケに
醉へば紅葉風に散る
鳴くは小虫か、野の鳥か
山のいたゞき雲のせて
仰げば高し、空晴れて
香りは高し自然の美
松はみどりに葉は紅に
音は透々瀧川に
流れを縫ひし川石に
一人たゞづむ遊子あり

しらうを句抄

柳原極堂選

寒雀曉の雨樋鳴らしゐる　孤舟
寒雀陽溜による一つつゞ　衆二
鳴きもせず一日垣根の寒雀　正雄
こまごまと枯枝重なり寒雀　木々子
柿の木に群がりゐるや寒雀　萤水

新年短歌俳句募集

一、題　イ、新年雜詠　ロ、牛に因めるもの
數隨意、但し俳歌を別紙に認むること
一、締切　十二月廿日

私の讀書

後藤國松

私は非常な讀書家を以て自任してゐる。外國の物——といつても英語だが——は力不足の爲めに面倒臭くて殆ど手にしないが、日本物は二日若しくは三日に一冊位の割合で讀む。こんな具合だから無論一日十行で丁寧懇切に味はつて讀むのではない。種類は職業上必要な經濟に關するものが中心であるのは勿論だが併し私が貪り讀むのは傳記と旅行記である。善き傳記を讀む時は善き友と語る樣な氣分がするし善き旅行記を讀む時には自ら其地に遊ぶ感さへする

私は馬場恒吾、高橋龜吉、鶴見祐輔三氏の著書は一冊殘らずといつていゝ位愛讀した、雜誌記事ではダイヤモンドの石山賢吉東洋經濟の石橋湛山兩氏の筆になつたものは最も敬意を拂つて讀む

德富さんのものは日日たより其他あまりに文章が下手なので讀むに耐へぬ。評論家のものは中央公論、改造、日本評論等で夫々一瞥するが杉森氏のだけは私の頭の惡いせいか要領の捕捉に惱み此頃では一切讀まぬ事にしてゐる。どうしてあゝ難解な表現をするのだらう

古書では每晩寢る三十分位史記を讀み自動車の中で菜根譚を讀む。私の漢學の智識があの程度のもので夫れ以上六ケ敷ものは讀み得ないのである

小說では菊池、里見、谷崎三氏を愛讀する。横光氏等純文學系のものは何だか文學青年臭があり過ぎてピンと來ない。要するに私の頭の幼稚さの效果かも知れぬ女流作家では野上彌生と吉屋信子嬢のキビ／＼した現代色に好感を持つ

私は青年期に新聞記者生活をしたが併し原稿料を貰つた經驗はなかつた。然るに二三年前談話料として或る雜誌から五圓貰つた。とても嬉しくて此披露に友達を招待したため百圓以上のを支拂となつたがちつとも後悔しない。而して其五圓で買つた萬年筆は今でも大事にしてゐる

今日の訓へ

哲名　山人

試驗地獄といふ標語があるが、之は人生の試錬である、だが、人は常にためされてゐるものである、この意味で世界は大學校なりとも謂ふべしだ。凡そ地獄といふものは假設であつて、この世、あの世にもあるものではない、若しあるとすれば、その人の心ばせである、歌に『地獄極樂何處にある、西、東、北から探せみんなみにあり』と

12月18日

△米國獨立戰爭始る（一、七七五）△華士族の商業を許す（明治四）△始めて東京にガス燈を見る（同七）△北支新政權樹立の冀察政務委員會成立式（昭和一〇）

賀松原幸夫君新婚

珠雲　小野務平

藹々春風滿堂室
淑人君子樂幸臨
中青朗々蓬萊曲
正識百年和樂長

寄贈書目

△法律新聞十二月十三日號　論說、雜報、隨筆等例の如く特に本號には清新な大審院刑事判例が滿載されてある（一部税共十錢五厘、東京市日本橋區本町四丁目五ノ五其社）

小說

高橋是清

(194)　松浦泉三郎作　佐々木今朝吉畫

田中・濱口・犬養（六）

昭和七年一月八日　天皇陛下には龍顏いと美しく代々木原頭に行幸遊ばされ大觀兵式をみそなはされたまふ

觀兵式を事なく終つた鹵簿は嚴々として警視廳舍前の街角にかゝられた

その時だつた

突如、拜觀の群集の中から脫兎の多く躍り出した人影一ツ、ハッと見る間にハッシ！一個の手榴彈らしいものが投せられた

警護の憲兵警官はもとより、參觀の群衆は思はず愕然として息を嚥んだ

犯人は李奉昌三十二歲、その場を去らず取押へられた

そして鹵簿は何事もなかつたやうに靜かに進んで行つた

彈は宮內內大臣乘用の馬車に投せられたが何事もなかつた

この不敬事件が報道されるや國民は擧げて驚駭せざるはなかつた

その時是淸は病床にあつた

犬養首相以下全閣員は恐懼おくところを知らず、首相は直に閣僚の辭表を取り纏め同日午後五時十二分參內してこれを奉つたが、畏くも　天皇陛下には、

『時局重大の折柄……』

と有難き優諚を降し給はり、辭表はその儘犬養首相にお下げ渡しになつた

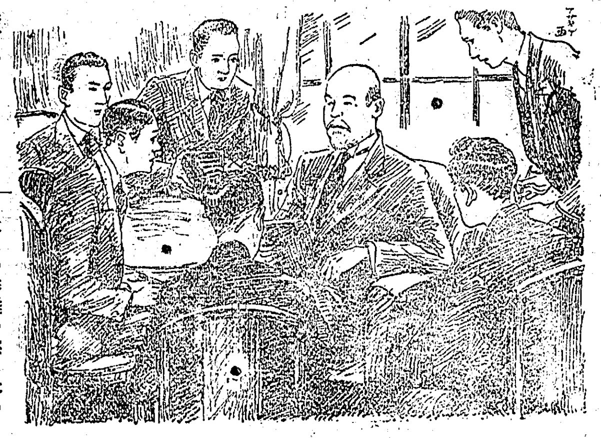
首相初め全閣僚は優諚を拜し感激して留任を決意、同時に益々政務に精勵、鴻恩に報い奉らん事を期したのであつた

かくて政府は同月二十一日からの休會明けの議會に臨んだのである

愈々解散來！

政界は極度に緊張した

野黨は政府の留任に對して轟々の非難の聲を放つた



然し犬養首相は貴族院で柳澤保惠伯から第二次山本內閣當時に於ける虎の門不敬事件に際して、當時閣僚の椅子にあつた首相が內閣と運命を共にしたに拘はらず、今回優諚を拜して留任した態度に關する質問があつたのに對して

『山本內閣の時は、自分はあれで宜いと思ひました。而るに今回は留任することが臣子の分として最善と思ひます、前回と今回とは自分は態度を異にして居ります。この變化によつて來るところは私の修練の結果に依る、心境の變化であります』

と受け流した

朝野兩黨議員の極度の緊張裡に議會の幕は開かれた

犬養首相が施政方針を說いた

續いて是淸の演說が終つた

兩相の說明が終ると共に紫の袱紗包みを奉持して現れた森書記官長の嚴肅な顏

解散詔書だ

全議員起立

詔書は高らかに讀み上げられた

かくて政府は休會明け議會の開會と共に與黨少數にして政策の遂行に困難なるを以て信を國民に問ふとの理由で斷乎解散の擧に出でたのであつた

その結果は？

二月二十日選擧

翌二十一日開票

この選擧に依つて獲得した政友會の數は實に三百有三、憲政史上未曾有の壓倒的多數で勝利の凱歌が高らかに擧げられたのであつた

世人は犬養內閣を目して枯木に花咲く內閣と呼んだ

これに反して民政黨は二百四十九の多數から百四十六に落ちて無慘な敗北を喫した

かくて政府は勇躍、三月十八日に召集された第六十一議會に臨んだ

廣告

各科專門醫擔當
磐城 共濟病院
院長 醫學博士 長谷部喜久
平町・電話六四一番

酒とマヅイ
おでんの榮ちやん
平田町花ノ里
電話三三番

高久病院
院長 高久忠
平町田町電五一三

吉田眼科醫院

盛況御禮と（日延案內）
七五三と歲末福引大賣出し開催中の處日々大盛況御禮として
十二月二十日迄
福引大賣出し
全店適品豐富　新安値品續々入荷
◎御祝儀用格安品豐富……
御贈答には三井の商品券
三井呉服店
平町 電 三八 二八四

ズラリと並んだ!!! 氣の利いた!!! 一般向!!! 贈り物!!!

殿方用シャツ	綿メリヤス 90=1.40	純毛シャツ 1.50=4.50	防縮加工シャツ 2.50=3.80	本ラクダ毛シャツ 8.50=13.00
ワイシャツ	綿ネル 1.30=2.50	半毛ネル 2.80=3.20	本毛ネル 3.90=5.80	富士絹製 2.80=5.50
ネクタイ	人絹 45=50	本絹 1.50=2.50	モーニング用本絹 1.50=1.80	勅題柄 2.00
婦人用シャツ	綿メリヤス 90=1.40	純毛シャツ 1.80=3.80	防縮加工毛シャツ 2.50	眞絹入毛シャツ 5.00=5.50
殿方用沓下	ガス地半打入 1.20=1.50	半毛地半打入 1.70=2.40	本毛地半打入 3.00=9.00	其の他柄物
弊店特製化粧石鹸		3ヶ箱入 30	半打箱入 55	1打箱入 1.10

其の他贈物向實用品種々陳列して御座います。何卒御用命御待ち申して居ります。
ツルヤ　平・電一四〇

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ・マス・ハカリ
計量器 体溫器 寒暖計
開內藥局 電話四〇番

（入院隨時）
根本產婦人科醫院
平町南町五二
根本莊次郎 根本貞雄
電話三四番

暴騰前の秋冬洋服
◇懸賞付特賣◇
◎新製秋冬紳士服御誂御假縫付仕立入念奉仕！
一、背廣三ッ揃 金三十圓より
一、オーバ各種 金二十五圓より
一、モーニング一着 金四十五圓より
一、立衿一着 金十二圓より
一、二重廻一着 金二十七圓より
一、東コート一着 金十六圓より
感謝景品提供
御誂文一着毎に抽籤券進呈（但シ金參拾圓以上）
（一等）モーニング及縞ズボン一着分 一本
（二等）ラクダオーバ、コーチング一着分 一本
（三等）合背廣服生地一着分 二本
（四等）當店發行金拾圓券一枚 三本
（五等）カフスボタン一組宛
以上全部總當り
◎特賣期日 九月十五日より十二月三十日まで
◎抽籤發表 昭和十二年一月十五日 嚴正に抽籤施行
福永洋服店
福島縣平町田町十九 末廣料理店前 電話三八二

時代の要求皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市內…三〇錢 市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行…直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

今冬の流行物
澤山入荷致しました……
洋服は高島屋
注文並に既製品
高島屋洋服店
平町二丁目電話三八六番

お醬油は……ヤマフル
味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

開業廣告
齒科一般
平町田町（安濟醫院向）
齋藤齒科
東京齒科醫學士 齋藤賢三

許可を得たる村營屠殺場の豫算に關して協議するが体建築費並に設備費を合一千八百圓位である

呑舟の魚を擧げて「更に明春殘黨狩り」
平署司法部緊張す

今秋第三次の所謂『街の紳士』狩りを斷行して數十名の大ダニ小ダニを一齊檢擧（このうち体刑五名、罰金三十餘名）した平署では更に市制實現を前にした平町の明朗化を圖るため町內に巣喰ふ呑舟の魚を目指して內偵を進めた結果、愈よ確證を握つたので去月中旬來柴田署長指揮の下に司法部總動員で着々檢擧の手を延ばして來たが漸く事件の一部が明瞭となつたので一と先づ送檢、更に明春早々を期してこれらの殘黨狩りを斷行すべく引續き捜査の手を各方面に向けて司法部は緊張してゐる

第三校庭擴張工事着工
只野忠康氏に落札

平第三小學校運動場四百九十坪の埋立工事指名入札は十五日町役場で行つた結果千六百九十二圓で大町只野忠康氏に落札、直に着工の上明春新學期迄に竣功する筈である

赤堀氏の近作 聖徳太子
若松の高瀨老刀自に絡る 敬虔な信仰佳話

赤堀信平氏の近作『聖徳太子』は曩に東京上野に開催の文部省美術無鑑査展へ出品後、京都文展から懇請を受け引續き同展へも出品去る十五日同會が閉會したので愈よ近く會津へ護持されることになつてゐるが、右御像に就ては左の如き敬虔なる信仰秘話が織り込まれてあり、這般の消息を知る人々をして少からず感激せしめてゐる

×

香取秀眞 長谷川榮作 畔柳完道 五井郷實 津上倡平 菊池山哉 久保田滿月 赤堀信平 荻生天泉 坂內青嵐 堀口蘇山等現代知名の藝術家一行十一名が今春第二回藝苑巡禮として會津へ赴き若松市の富豪高瀨喜左エ門氏に招かれた際佛敎藝術から聖徳太子を語る同氏母堂市子刀自(七二)が常に佛敎の信仰厚く赤堀氏に對して、永く求め居た太子御像の製作方を望まれ『若し刻みくれねば何度でも御願ひに行く人生朝露の如しで今年中に是非御像を拜したい』との熱意を示されたので同氏もその佛心に感動し歸京後更に刀自から再三の書面に接し益々感激を深め大和法隆寺に詣で信仰研究を續け、信仰に對する燃ゆるが如き感激と藝術への精進から漸く八月に其原型を出來、十一月初旬木像に完成前記の出品に至つた努力の結晶である

實際の便宜に即し 町村道名稱改正
菊田方部で第一回協議會

植田土木出張所管內町村道の名稱は今度縣の通報に依り夫々變更する事となり十六日午前十時より同所內に各町村役場より係員出張第一回の打合會を開催したが從來の名稱は非常に複雜して間違ひ易く其の不便が少くなかつたので今回の改正を機とし縣、國道に因んで決定する方針であると

産馬組合幹部
白河馬匹場視察

石城産馬畜産組合幹部永山久助外二十四名の一行は馬匹の改良增進を圖る目的で十五、六の兩日西白河郡西郷村の縣種馬所並軍馬補充部白河支部の視察を行つた

關田に貯水池

勿來消防組永年の懸案たる貯水池は愈々近日中大字關田二千立方位の場所を選み豫算八百圓位で近日中起工することになつた

錦村會招集。。。。

錦村會は明後十九日招集、過日縣より

双葉製炭業者陳情

去る十五日双葉郡川內村及上岡村等の製炭業者は夜の森驛前わびす屋旅館に會合川內村及附近各町村駐在木炭檢査員は情弊百出の爲全面的大更迭を斷行する樣陳情す可く決議し、立花斗支所長並に縣當局に直ちに陳情した、上川內に於ては約二ケ月前運署の上更に一名の檢査員增員方を陳情した事があり、彼此當業者間に面白からぬ空氣が漂つてゐる樣である

軍國の春
歡呼渦巻くなか 行け我等が勇士
若松入營兵宿舍決る

おらが村の、町の誇りを滿面に輝かして本郡出身の若松步兵二十九聯隊兵は愈よ望み多き新春初頭一月九日平驛午前十一時十分磐越線で晴の出發だ——冗費節約からその歡送旗はめいめい一本に限られたとは云へ心からの歡呼の聲は怒濤の如く新春の驛頭に爆發する事だらう、翌十日の指定宿舍は左の如く決定した

△平 小名濱 湯本 植田 草野（驛前湊屋）
△勿來 四倉 上、下小川 大野 三阪 澤渡 赤井 神谷（驛前煙草屋）
△好間 夏井 大浦 川前（同加登屋）
△鹿島 田人 荷路夫 貝泊 上遠野 入遠野 平窪（同辰巳屋）
△山田 磐崎 內郷 飯野 高久 玉川（同淸水屋）
△豊間 渡邊 泉 錦 川部 永戸（同藤屋）
◇尙本郡出身仙台步兵第四聯隊兵の宿舍は驛前仙台ホテル、橫須賀海兵團の東京宿舍は芝區白銀台町二ノ三八白銀旅館である

乘合車猛進 物置を壞す

平町二丁目自動車運轉手佐藤立身(三一)は昨十六日午後六時頃乘合自動車を運轉內郷村御厩地內にさしかゝつた際運轉を誤り傍の農野木泰一方の物置に突入、幸ひ死傷はなかつたが車体を破損した

願書タツタ十通
成績芳しくない 海軍兵の應募

橫鎭管下本郡に於ける來年度海軍志願兵採用試驗は既報の如く二月十八日から三日間毎日午前八時半から平第三小學校で行はれる、制當人員二百四十名で平町でも來る二十日迄の締切りを前にして目下願書を受付けて居るが未だ僅か十名、今年は二十名あつた

試驗科目は算術、國語、常識で第一日目に約三分の二をふるひ落し体格檢査が行はれる、受驗者は尋常小學四年以上及中等學校の通信簿或は青年學校手帳を持參されたいと

味噌騰る

磐城味噌製造販賣業組合では原料騰貴の爲此程の總會で味噌一貫匁につき金五錢の値上げを決議し來る二十日より實施の申し合せをなした

植田の小濱港で 種あはび放殖

植田共同漁業組合では上流人絹工場の放毒關係で小濱港の主要物産である鮑が續々斃死したので其の種切れを憂ひ曩に岩手縣大船渡地方より優良なる種鮑五百貫を買入れたが愈々十六日その種鮑が到着したので直に同港へ放殖した

平外七村 農産品評入賞決る
あす褒賞授與式擧行

平町外七ケ村農會聯合農産物品評會は昨十六日から三日間平署會議室で開き出品七百點、今、明兩日卽賣をなし明十八日午後一時から中國体事務所で左記入賞者に對する褒賞授與式を擧行する

△一等 玄米平窪關場良平 ネギ同明智治右衛門 人參飯野伊藤稔 長大根草野鈴木福義 牛蒡平窪關場良平
△二等 神谷志賀政美 同中野熊之助 好間猪狩喜惣兵衛 夏井阿部正 同鈴木正義 同鈴木定義 好間吉田富三郎 草野久田藤之助 平窪松崎忠良 同鈴木朗夫 同鈴木ヒサヨ 好間大谷良助 神谷鈴木幸吉 好間鈴木滿藏 同鈴木角太郎 神谷箱崎久義 同箱崎義夫 平窪鈴木定夫 好間藤田善助 飯野鈴木ヨシ 好間若松初吉 同中村慶次 內郷遠藤攝一郎 飯野久田元忠 草野青年學校 飯野小學校
△三等 內郷山崎與平外五十一名
△四等 夏井鈴木庄作外百二十四名

祐天上人一代記 愈よ明春上映
收まる國寶の數々

平町長橋高木喬氏が計劃にかゝる『祐天上人一代記』の映畫化は其後着々進み去る十五日各地のロケーションを完了したので來る二十三日文部省の檢閲を經て明春一月十四、五日頃世界館で封切り上映する事となつた、フヰルム中には上人が三十世大僧正となつた東京之三緣山增上寺秘藏にかゝる左記國寶物が三十餘點が收められ、これらは未だ全然映寫されてゐないもの丈けに早くもファンから期待されてゐる

△德川二代—九代將軍の靈屋 △明治大帝母君靜寛院御廟拜殿 △德川六代將軍お氣に入りの白百合欄門 △狩野義信が畵く唐獅子の壁畵 △上人斷食の場所開山堂

越し方を顧る
多彩なりし時の動き
1936 地方側面史 —(一)—

身も心も極度に目まぐるしい大晦日の夕方生活苦に思ひ餘つた父親が今は寸前の理性も眞つ暗闇の傾城トンネルで進行中の列車から可愛い倅を突き落した事件から、元旦早曉高坂校を襲つた泥棒騷ぎなどに引續き餅と酒の正月氣分が最高潮に達してゐる御用始めの四日早朝、郡山市大町クラブ自動車事高橋國松方からセダン（時價三千圓）を盜んだ怪盜がナンバーを取り替へて平町方面へ潛入した——との手配に炭礦漁村を管內として事件の淵叢地と目されてゐる平署員は松の內早々お正月の泰天氣分を滿喫して居る事は出來なかつた

斯て慌しい自動車怪盜の潛入騷ぎをプロローグとして多忙な活動の幕を開かれた昭和十一年の平署は、五日の旗日に、蹌踉蹣跚と夕闇の內郷村御厩地內國道を通行中の日雇江川粂三郎(四三)が自動車に轢き逃げされて瀕死の重傷を負つたと云ふ檢視事件No.1が捲き起つた

(四日) 情婦の色香に迷ひ畏れ多くも小學校奉安殿に不敬を働いた双葉郡新山町の江戸川正雄は舊臘二十八日懲役三年を求刑され、御用始め早々不服で控訴した

(五日) 午前三時平町南町雜貨商小池猪之助方から表硝子戸を破つて商品を盜んだ福岡縣八女郡川崎村生れルンペン熊谷茂(四二)捕はる

養父の印鑑を盜用した永戸村の戸塚豊作(三四)五日留置中

(七日) 巧妙な手口で散々地方の有志から搾取した稀代のインチキ書家玉齋專竹田好次郎、愈々取調べ一段落近く送檢の運びに進む

(八日) 去る五日內郷村地內の轢き逃げは、內郷の無免許大橋充(二八)と判る

津輕海峽の時化で上り急行遲延

上遠野村大字瀧字深山田雲藤善吉(七〇)は此日田人村黑田の齋藤富太郎方へ入營祝ひに行き遺憾無 徹底して會

の歸途鮫川上流の崖から轉落非業の最期を遂ぐ

(九日) 六日朝勿來町酒井出藏大日本炭礦勿來坑の火藥庫に危い眞似をした雜役夫茨城郡久慈郡大子町生れ龜太郎長男前科二犯增山親治(三二)送檢

(十日) 上小川村議九名の補欠選擧執行

畠田縣警察部長等臨席、平第三小學校で濱通りの三百餘名に選擧肅正指導者講習

僞證事件愈々擴大 更に一名登場す
昨夜起訴前の强制收容

一時地方人の耳目を聳動せしめた小名濱築港疑獄事件に連坐賭罪に問はれた湯本町辰ノ口居住前科二犯本岡山忠盛(四二)は昨十六日深更突然自宅より檢事局に召喚、櫻井檢事の取調べを受け直ちに野木判事の拘引狀により起訴前の强制處分に附され平刑務支所に收容された

右は過般來平檢事局が直接取調べに乘り出しその成行を注目されてゐた双葉郡新山町前田還藤サワ(四二)の僞證事件に關連しその不正が暴露したものゝ如く同族會社を除名された前記サワから事情を知悉しながら會社の山林を買受け之を轉賣して不當の利得を收めんとし且つ僞證敎唆の嫌疑によるものらしいと

新年名刺交換會。。。。

平町十二年度元旦新年祝賀並名刺交換會は既報の如く聚樂館で開かれるが會員券五十錢なるべく早く申込まれたいと

女房家出

茨城縣久慈郡下小川村西金長島粂吉妻たつ(四五)は去る十日夫の不在中衣類を持つたまゝ家出行方を晦したが郡內の知人を賴つて來たものらしいからと十七日粂吉から平署に搜索願

綴坑に出水
目下消息不明一名

磐炭綴坑第三本線又卸し二昇り拂ひ下磐より今十七日午前九時頃俄然出水、目下鋭意排水作業中だが毎時四十立方の水量で、同時に少許の瓦斯發生し現場へ近寄れぬ爲救命器をつけ人員點檢其他爾後の推移を取調中であるが、消息の判明せぬもの一人ある

みさちやん洗足中溺死

植田町大字添野字猿田四十三番地戸主農富岡五六二女みさ子(四)は十六日午前十一時頃自宅前添野川に於て洗足中轉落溺死せるを程へて發見、大騷ぎとなり屆出でに依り植田署より齋藤部長出張檢視を遂げ死体は家人に引渡した

天氣豫報 （小名濱測候所發表）

今晚は南東の風曇
明日は南東の風曇時々小雨

木戸の火事

双葉郡木戸村山田岡農石川淺次郎方から今十七日朝七時頃出火、同家外住家五棟、非住家八棟を全燒、三棟を半燒した、損害二萬五千圓、原因取調べ中

落磐。。

箕輪村榊小屋宇中根日廼丸炭礦坑夫栗島辰五郎(五四)は十六日午前九時半頃入坑作業中落磐で間もなく死亡した

十八日 （小名濱測候所發表）

日出 六、四一 月出前 九、二八
日沒 四、二六 月沒後 八、三五
滿潮 前七、一五 後五、二〇
干潮 前〇、一〇 後〇、一五

舊十一月五日 金曜 甲戌 先負 開 牛宿
新十二月十八日

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠館

▲一白 身分に變動を起す樣の事は務めて避くべし▲二黑 目前の小利を離れ遠大の計を立つるに宜し▲三碧 龍も時を得ざれば地中にひそむ何事もあせるな▲四綠 攻勢に出でず靜を守り沈默するが安全の策▲五黃 內を整ふる時は外は自然と平穩に歸すべし▲六白 山氣を離れ地味に働けば大吉日となるべし▲七赤 多少の不安はあるも結果は好き日たるべし▲八白 遲々たりとも寸進尺土を得るの心がまへを要す▲九紫 少しは尖ふとも大に得らるべき日奮勵肝要

しもやけ家傳藥

是マデしもやけハ暖カクナラネバ治ラヌモノト諦メテ居ツタノガ一日二三回二三日ノ御使用デくすれたしもやけモ忘レタ樣ニ完全ニ治リマス。現今ノ塗藥トハ異リ晒法ニヨリ根本カラ除去スルモノデアリマス。しもやけハ寒サノ爲ニ皮下毛細血管ガ障害ヲ起ス爲ニナルノデ塗藥等デハ決シテ治ルモノデハアリマセン、叉くづれたしもやけニ塗藥デハ塗布ト同時ニ痛ミヲ感ジタリかゆみヲ增シタリ致シマスガ此藥ハ無刺戟ノ中ニ心地良イ晒法ニヨリ皮下ノ血行ヲ良クシ幼キ御子樣方ニモ喜バレ如何ニくすれたしもやけデモ完全ニ全治致ス事保證致シマス是非一度御試シ下サイ。

東京 丸井邦寶堂
福島茨城兩縣特約 平町一丁目 伊藤石炭店

メガネは正確にして廉價
最新式各國製レンズ
眼鏡
豊富に取揃へて御座います
（亂視用眼鏡卽時調製）
根本時計店
平町二丁目 電話六〇七

石城郡平町田町五番地
千代田火災保險株式會社代理店
丸三株式店
公社債 現物賣買 電話仲介 株式
常盤光威
電話四六番
小店員募集 （十五、六才） 委細面談

內外建築材 建具材
阿部材木店
磐城國平町（公園下）
阿部好利（改名）
電話四九四番